

麻機遊水地保全活用推進協議会

第 18 回総会 議事概要

(1)開催概要

本総会では、「令和 6 年度協議会予算（案）」、「令和 5 年度取組み報告および令和 6 年度取組み計画（案）」、「麻機遊水地保全活用行動計画第 3 期計画について」、「協議会調査データの公表について」、「令和 6 年度の遊水地フェスタについて」および「麻機遊水地保全活用推進協議会規約の一部改正（案）について」について審議を行い、一部を除きいずれも賛成多数により承認された。また、「令和 5 年度協議会決算見込み」、「民間企業・団体との連携について」などの報告も行った。

(2)開催日時

2024 年（令和 6 年）10 月 3 日（木）

(3)開催場所

静岡市役所 新館 17 階 171, 172 会議室

(4)開催内容

<報告事項>

- ① 議事概要 第 17 回総会、令和 6 年度総会委員意見交換会
- ② 令和 6 年度（前期）取組み報告
- ③ 専門委員のご退任について
- ④ 民間企業・団体との連携について
- ⑤ 活動証明書（試行）の発行について

<議事事項>

- ① 令和 5 年度協議会決算報告（案）
- ② 監事の選任について
- ③ 令和 6 年度予算補正（案）
- ④ 麻機遊水地生きもの図鑑の配布について
- ⑤ 麻機遊水地保全活用推進協議会規約の一部改正について

<その他>

- ① 第 9 回遊水地フェスタ開催のお知らせ

(5)参加者

■総会委員、顧問(20/27名)

No	区分		所属	氏名	出欠
1	会長		東海大学 名誉教授	田中 博通	○
2	学識経験者		静岡植物研究会 会長	湯浅 保雄	○
3			日本野鳥の会静岡支部 副支部長	伴野 正志	○
4			静岡大学教育学部 准教授	加藤 英明	欠
5			NPO 静岡県自然史博ネット	杉本 武	○
6			国立環境研究気候変動適応センター 副センター長	西廣 淳	Web 参加
7			東海大学海洋科学博物館・自然史博物館 学芸員	太田 勇太	欠
8	地域代表		麻機学区自治会連合会長	杉浦 徹	○
9			城北学区自治会連合会長	山崎 康司	○
10			東千代田学区自治会連合会長	齋藤 健次	○
11			竜南学区自治会連合会長	角 隆弘	○
12			流通センター地区代表	伊藤 哲	○
13	各部長・ 副部長	自然再生部会	自然再生部会 部会長 麻機湿原を保全する会 会長	後藤 昌徳	○
14			自然再生部会 副部会長 麻機ウェットランドクラブ・麻機村塾 代表	石上 恭平	○
15		地域活性化部会	地域活性化部会 部会長 協同組合静岡流通センター 専務理事	上川 雄司	○
16			地域活性化部会 副部会長 あさはた緑地公園愛護会 会長	剣持 邦昭	○
17		ベーター麻機部会	ベーター麻機部会 部会長 ベーター麻機部会	竹下 博実	○
18			ベーター麻機部会 副部長 ベーター麻機部会	高橋 邦男	欠
19	行政	静岡県	河川海岸整備課長	百瀬 尚至	○
20			静岡土木事務所長	伊東 信幸	○
21			健康福祉部政策管理局 企画政策課長	村松 聡	○
22		静岡市	企画局参与兼企画課長	石川 賢一	欠
23			環境局環境共生課長	柴 孝宏	○
24			保健福祉長寿局健康福祉部 障害福祉企画課長	寺田 和弘	欠
25			都市局都市計画部公園整備課長	杉山 晋	○
26			建設局土木部河川課課長補佐 兼巴川総合治水対策係長	佐野 真己	○
27	顧問		静岡市長	難波 喬司	—

■事務局(9名)

No	所属		氏名
1	静岡県	交通基盤部静岡土木事務所河川改良課	望月 一弘
2			西村 昌史
3			住田 章哲
4		交通基盤部静岡土木事務所企画検査課	野中 千栄子
5	静岡市	都市局都市計画部	杉村 則久
6		都市局都市計画部緑地政策課	高田 千央
7			杉山 公治
8			中島 裕也

■傍聴(民間:11 名)

No	区分	所属	氏名
1	団体	協同組合静岡流通センター・麻機遊水地柴揚げ漁保存会	濁澤 直也
2		静岡市立観山中学校	中本 裕介
3		(一社) グリーンパークあさはた	木下 聡

■傍聴(行政:2 名)

No	所属		氏名
1	静岡市	環境局 環境共生課	宮川 聡美
2	静岡県	交通基盤部河川砂防局 河川海岸整備課	梶原 大督

(6)開催写真



3-2-2.第 18 回総会議事概要

(1)議事事項

○議事 1：令和 5 年度協議会決算報告（案）

挙手多数により承認された。

○議事 2：監事の選任について

挙手多数により承認された。

○議事 3：令和 6 年度予算補正（案）

挙手多数により承認された。

○議事 4：麻機遊水地生きもの図鑑の配布について

事務局より、麻機遊水地生きもの図鑑の配布方針の提案を行い、公共施設への寄贈配布の方針、協議会事業への参加ポイント交換制で提供する方針について承認された。

その他の配布方針（ポイント交換制の具体的運用、有償刊行物化）については、合同部会にて改めて会員へ相談する。

○議事 5：麻機遊水地保全活用推進協議会規約の一部改正について

挙手多数により承認された。

(2)その他報告事項

○令和 6 年度（前期）取組み報告

協議会員より、令和 6 年度（前期）の取組み報告がされた。

○専門委員会のご退任について

事務局より、魚類の専門委員であった太田委員について、職場都合でのご退任の報告を行った。

○民間企業・団体との連携について

事務局より、『静岡県内・市内の民間企業との連携・支援体制の構築』について、進捗報告を行った。

○活動証明書（試行）の発行について

事務局より、『民間企業・団体との連携』の一環として、『活動証明書』の発行を試行する旨を報告した。

○第 9 回遊水地フェスタ開催のお知らせ

事務局より、第 9 回遊水地フェスタ開催のお知らせを行った。

(3)意見・質問

<議事4:麻機遊水地生きもの図鑑の配布について に関する意見・質問>

⇒事務局回答

- ・ 図鑑の当初予定価格と資料の参考単価が大きく異なるが、実際の単価はどのくらいか。
⇒ 一度の印刷部数に依存しており、部数を増やすほど単価が下がっていく。
例) 2000 部印刷：約 300 円/部
300 部印刷：2780 円/部
- ・ 会員へ配布された図鑑はイベント参加者等へ無料配布して良いのか。観察会の参加者の手にいち早くわたるようにしたい。
⇒ 協議会の予算に限りがあり、他の取組みを含めた運営活動資金を考慮すると、安易に無料提供を行うことはできない。会員配布の主旨である「日頃の活動での活用」をお願いしたい。
- ・ 事前の要望数調査で参考として提示された金額が高すぎて欲しくても要望する気にならなかった。大量印刷により単価が下がるなら話が変わってくる。要望数調査は何の参考にもならないのではないか。
⇒ 事務局で会員の皆様の需要量を把握できていなかったため、少ない部数での参考価格を付けてしまった。まだ調査結果は集計中であるが、同様の電話をいただいたり、また 100 冊単位での要望がある会員があるなど、当初想定より多くの需要があると考えられるため、集計結果をもとに検討を進め、改めて皆様にご相談させていただきたい。

<報告2:令和 6 年度(前期)取組み報告 に関する意見・質問>

- ・ 報告にある取組みについて、資料に日付を記載して欲しい。今後の参考になるため、お願いしたい。
⇒ 今後の資料ではそのようにしたい。
- ・ ベーテル麻機部会が清掃管理している第 3 工区の仮設トイレの場所にもともと予定していた本設のトイレはもう作る予定はないのか。
⇒ 地盤が安定せずトイレの本設はできないと判断し、仮設トイレの設置となった。現段階では、これ以上のトイレ整備の予定はない。

<報告2:民間企業・団体との連携について に関する意見・質問>

- ・ 非常に良い資料と取組みである。引き続き、頑張っていてもらいたい。
- ・

麻機遊水地生きもの図鑑 分配数の決定にかかる

図鑑編集委員の皆様からの意見聴取結果一覧

【意見を頂いた図鑑編集委員】

湯浅 保雄 氏、伴野 正志 氏、板井 隆彦 氏、三宅 隆 氏

1. 残部数 1840 部の配布について

(1)「公共施設への寄贈」について

- ・図書館に寄贈するだけの学校は、学校側の管理手間も考慮して減らした方が良い。
- ・協議会会員で、授業や校外学習等での活用を見込む近隣学校などは、使い続けられるよう、一部紛失することを念頭に潤沢に寄贈すべき。
- ・静岡市立竜南小学校、静岡私立北中、高校を始めとした麻機遊水地における環境学習を実施している施設にも寄贈すべき。
- ・麻機遊水地において「生きもの調査員養成講座」を行っている環境共生課にも配布すべき。

(2)「協議会会員への配布」について

- ・過去に有志で図鑑を作成し、協力者に複数部を配布したことがあったが、複数部を配布するにあたって、公平な配布方法に苦慮した。
- ・個人会員又は団体会員会長の保管用として、配布済みの1部を活用してほしい。

(3)「協議会として確保し、何かしらの方法で活用すること」について

- ・全体として割り当てる部数を増やすべき。
- ・将来の自然再生活動の担い手づくりが大切。協議会関連のイベントへの参加は担い手づくりに直結する。
- ・事務局として多めに確保しておけば、新規協議会入会会員に対しても配布することができる。

2. 配布の方法について

(1)「ポイント制の配布」について

- ・現場で活躍する協議会員に対して負担を強いる可能性がある。
- ・案を練り直し、現場で活動する協議会会員に負担を強いることの無いようにすべき。
- ・一般の方は、ポイントを貯めて生きもの図鑑を手に入れるより、すぐに手に入れたいのではないか。
- ・場合によっては「視察対応時の配布」に分配し、事務局として多めに保管すべき。